

# 防犯

# だより

vol.88

防犯専門官

山田 英明

## 住宅対象侵入窃盗の防止対策

近年、犯罪件数は全国的に減少傾向にあり、福岡県の令和3年の住宅対象侵入窃盗被害は1004件でした。令和2年と比較すると453件も減っていますが、発生件数は全国ワースト6位となっています。

この住宅対象侵入窃盗とは、皆さんの自宅を荒らすいわゆる「泥棒」のことで、警察では次の手口に分類しています。

- 【空き巣】住人が留守の間に住宅に侵入し、金品を盗む
- 【忍び込み】夜間、住人が就寝中に住宅に侵入し、金品を盗む
- 【居空き】住人が食事中や昼寝中などの在宅中に侵入し、金品を盗む

市内では本年の1～6月に、これらの泥棒の被害が前年に比べて7件増加しています。

## 被害の傾向

泥棒の被害を警察がまとめた統計から見てみると、県内では次の統計結果でした。

手口別被害状況	
空き巣	82%
忍び込み	13%
居空き	5%
建物別被害状況	
戸建て住宅	56%
中高層住宅	27%
その他の住宅	17%

被害の手口は圧倒的に「空き巣」が多いことがわかります。

戸建て住宅での侵入手口	
窓	61%
表出入口	13%
居室の窓だけでなく浴室やトイレの窓からも侵入されています。	
戸建て住宅での侵入手段	
無締り	40%
ガラス割り	13%
ガラスを割られて侵入されるイメージを抱きがちですが、実は鍵のかけ忘れが多かったという意外な事実があります。	

中高層住宅での侵入手口	
表入り口	65%
窓	18%
オートロックのマンションや高層階の部屋でも、ドアや窓に必ず鍵をかけるようにしましょう。	

中高層住宅での侵入手段	
合鍵	46%
無締り	32%
ガラス割り	4%
予想に反し合鍵が使われたということが最多となっています。これは鍵の番号が分かれば、インターネットで発注し、他人でも合鍵を作れるという盲点をつかれたことによるものです。	

## 被害防止のポイント

- ◎ 鍵かけや鍵の管理（鍵力バーを付け、鍵番号を見られないようにすること）を習慣にする。
- ◎ 窓に補助錠を設置する、ガラスにフィルムを貼る。
- ◎ 玄関付近に鍵を隠しておかない。（手慣れた泥棒であれば、隠し場所をすぐに見つけ出します）

## 泥棒が嫌いなもの

泥棒が犯行を重ねるときにとっても嫌がるのは、次のようなことです。

- ◎ 侵入に時間がかかること
- ◎ 動く音が出ること
- ◎ 光で照らされること
- ◎ 住民の目があること



これらのことを対策として準備しましょう。泥棒の被害件数は減ったとはいえ、まだまだ被害は発生していますので、十分注意してください。

## 福岡県警察からのお知らせ

～二セ電話詐欺に気を付けましょう～

- キャッシュカード詐欺盗（キャッシュカードをすり替える手口）
  - 預貯金詐欺（キャッシュカードを受け取る手口）
- による詐欺被害が増えています。

### 被害にあわないための対策

- ◆ キャッシュカードや通帳を渡さない。
- ◆ 暗証番号を教えない。
- ◆ 電話で公的機関の職員を名乗ったら、部署や氏名を確認する。

